

# 別府見・遊・白・編

別府の町は古くから観光地として栄え、温泉は訪れる人達の心を癒してくれました。とても美しい自然と暖かい心を持った人々の住む町別府。大好きな別府の輝かしい歴史や文化を、懐かしい写真と共に楽しみください。  
パーラーベイズ

Vol.11

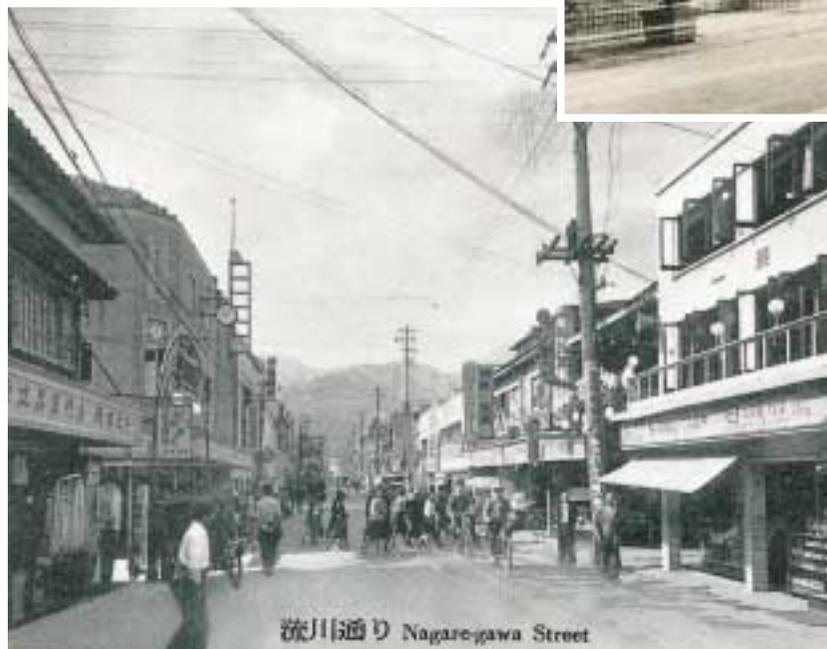
流川通り2丁目、ちょうどお菓子の菊屋さんの前に「名残橋」という文字が彫りこまれた石柱があります。川もないのに何故こんなところに橋が？と思う人は大正後に生まれた人。実は、流川通りは川だったのです。

大正6年、お湯の流れる「湯川」だった流川に蓋をする形で流川通りが誕生。弦歌さんざめく浜脇から一夜の遊びを終えて帰る人々が楽しい夢との名残りを惜しんだ「名残橋」も、姿を消したのです。現在でも流れ川通りの下は暗渠となっています。川から道路となった流川通りは、別府の町のメインストリートとなり、ダンスホールやピアホール、お土産屋さんの建ち並ぶ賑やかな大通りへと生まれ変わったのです。夜になるとネオンサインが道路を色とりどりに照らし出し、訪れる人を驚かせました。

(暗渠：地下に作った水路)



メインストリートの大通り流川の夜景



流川通り Nagaregawa Street

## 泉都別府・ふぐの「肝酢」誕生物語

古きよき時代のネオンに輝くメインストリート

大正3年、流川通りからちょっと入った現在の秋葉通り寄りに「なるみ寿司」という小さなお店が開店しました。店主の高岸源太郎さんは、当時日本で10本の指に入るといわれた有名な料理人であり、ふぐの「肝酢」の生みの親。翌年には「割烹料亭なるみ」を創業。それまで誰も怖がって食べなかったふぐの肝が安全で美味しいと世間に知らしめたのは、高岸さんの考案した「ふぐの毒抜き」が完璧なものだったからです。宮様にもふぐを食べていただき、久邇宮家には毎年正月に紋付羽織袴でふぐ刺しとちり鍋を持って訪れるのがしきたりだったそうです。昭和61年惜しまれながら閉店。翌年昭和62年、石垣東に3代目隆太郎さんが天麩羅の「虎鉄」を開店し、今も「なるみ」の味を守り続けています。

別府湾を表現したなるみのふぐ刺し(沖に千鳥が)



昭和25年頃のなるみ表玄関

## メモリアルギャラリー 流川物語 I

別府には、日本全国からたくさんの文化人・政治家が訪れました。当時の一流といわれる人達の中での「一流コース」は、流川通りに並ぶ一流ホテルに宿泊し「なるみ」で宴会をして、流川のダンスホール「ピリケン」で美しい女性とのダンスを堪能するものだったとか。流川には徳富蘆花、後藤新平・吉川英治・土井晩翠・小島政二郎・久米正雄・丹羽文雄・菊池寛・福田平八郎・佐藤敬・藤山一郎・今東光・大谷光瑞と、並べていけばきりがなほど沢山の有名人が訪れてます。



本日10時開店予定  
新台入替

新時代型情報サービス

p-mode

B.A.Zより新台入替・各種おもしろイベントの情報配信！  
過去3日間及び当日アクセスした期間までの全機種・全台の大当たり回数・確率データを見れるので、来店前に的を絞って勝負可能！  
パチンコ・パチスロの仕組みやなるほどおもしろ情報もゲット！  
i-mode・EZweb・J-Sky、どんな携帯にも対応！  
ぜひあなたもp-mode会員に！  
<http://www.p-mode.co.jp/i/tenpo/hall/>

B.A.Z. ベイズ  
Bayside Amusement Zone

新世紀になうこの子にチャイルドシート



d 0977-22-3377 別府市新港町3番27号  
御意見・情報・御希望等E-mailで受付しています。  
gmbic@chive.ocn.ne.jp

次回は「流川物語」をご紹介します予定です。